

令和8年1月20日
第2号

飯野地区地域づくり協議会 環境部だより

発行：飯野地区地域づくり協議会 環境部
〒513-0808 鈴鹿市西條町463番地（飯野公民館内）
TEL / FAX 059-390-3836



地域づくり研修生が クリアファイルを作成しました!!



是非、お使いください!



環境部の活動の基本的な考え方は啓発活動です。
今年度は、特に課題となっている、「ペットのふん害」「ごみの分別」「不法投棄」の啓発のため、地域づくり研修生の力を借りて、クリアファイルを作成しました。

このクリアファイルを2月20日号の広報と一緒に配布させていただきます。

どの絵柄が届くか、お楽しみに!!

環境委員会で
プレゼンしました!



部長の 談話コーナー



令和7年12月4日(木)に第3ブロック調査研修事業に自治会長として参加しました。
鈴鹿市と亀山市のごみ分別処理に関する違いを学習するとともに、ごみ問題に対する意識を高め、ごみ減量や分別行動の促進につなげることを目的に、鈴鹿市不燃物リサイクルセンターと清掃センター、亀山市総合環境センターを視察してきました。

鈴鹿市は亀山市と比べ分別が大変と聞きますが、その違いは「焼却炉」にありました。

鈴鹿市の清掃センターは約900℃でごみを焼却する「ストーカ炉」で、プラスチック製品などが入ると炉内の温度が高温になり、炉の耐久性に問題が生じてくるため、**もやせるゴミ**と**プラスチックごみ**の分別が必要になります。**もやせるごみ**は、清掃センターで焼却され、焼却時に発生する熱を利用して発電を行い、市の公共施設に供給されています。また、焼却灰はセメント原料や石材などに再生されています。**プラスチックごみ**は、不燃物リサイクルセンターで手選別で不要なものが混ざっていないか選別を行い、再資源化しています。

一方、亀山市は1,700℃～1,800℃の高温でごみを溶融（燃やしてから溶かす）する「溶融炉」を使用しており、**もやせるごみ**と**プラスチックごみ**を分別しなくても一緒に溶融できます。溶融炉は分別が少ないというメリットはありますが、実際には導入に係るコストが高額で、コークスという燃料が必要になる等、とても費用がかかるようです。亀山市は、同市の様々な事情を考慮した結果、溶融炉を選択したようです。

鈴鹿市と亀山市の大きな違いは、**もやせるごみ**と**プラスチックごみ**を一緒に出せるかどうか。資源ごみの分別には、違いがありませんでした。

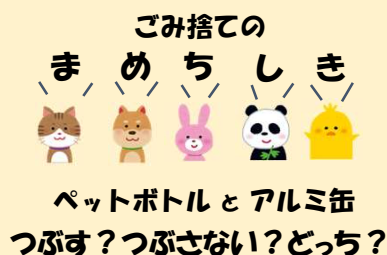
今回の視察を通して、鈴鹿市の今ある炉を長く維持できるよう、これまでどおり分別を徹底していくことが大切ではないかと感じました。

鈴鹿市は、炉の導入にかかる費用が安価（溶融炉の10分の1）で、正常温度で稼働していれば燃料は不要であるなど、コストを抑えている分、分別は細かくなり負担はかかるかもしれませんが、「家庭ごみの出し方・分け方」を参考に、分別を心掛けましょう。

まずは、何よりも『**一人一人がごみの減量を心掛けること**』が一番です。
ごみの削減に向け、出来ることから取り組んでいきましょう。



ちょこっとコーナー



ペットボトルは
つぶす



アルミ缶は
つぶさない

どちらも圧縮梱包して、リサイクル業者に引き渡しますが、アルミ缶の場合、つぶれていない方がうまく梱包できるそうです。

逆に、ペットボトルは、たくさん回収するために、つぶして出しましょう。
どちらも、中はすすいでくださいね。



わがまちの クリーンな活動

今回は、
三日市南自治会

わが町では、年3回の町内一斉
清掃実施できれいな町づくりを
しています。

清掃活動にご協力いただいた
皆様、ありがとうございます！

令和7年12月7日(日)の清掃活動の様子



寒い日が続いています。お身体に気をつけてお過ごしください。

